



エコアクション21

認証・登録番号 0003234

(2010年度版)  
環境活動レポート

(2010年4月～2011年3月)



株式会社トーキンEMCエンジニアリング

2011年 6月10日

承認	審査	作成
松岡	杉	小山内

## 環 境 方 針

当社は、全社員の環境意識を高め、全社として以下のように環境マネジメントに取り組んで行く事をここに宣言します。

1. 環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
2. 国、地方自治体の環境法規を遵守します。
3. 次の項目を重点項目と定め、事業活動の環境負荷および当社製品・サービス利用者様の環境負荷の低減を推進します。
  - 電気・ガス・ガソリンのエネルギーの使用量を低減します。
  - 産業廃棄物の分別を徹底し、排出量の削減を推進します。
  - 水の使用量を低減します。
  - 環境負荷の少ない部材の開発に努め、この部材を採用した製品の販売を促進します。

2010年7月1日  
株式会社トーキンEMCエンジニアリング  
代表取締役社長 松岡 進

## ■ 当事業所の概要

### 1・事業社名及び代表者名

株式会社トーキンEMCエンジニアリング  
代表取締役社長 松岡 進

### 2・事業所所在地

〒213-0023 神奈川県川崎市高津区子母口398番地  
※筑波計測センター  
〒305-0875 茨城県つくば市花島新田28-1  
※大阪計測センター  
〒669-1405 兵庫県三田市酒井字宮ノ脇49  
(注記) ※は登録範囲外で2011年の審査で拡大する。

### 3・環境保全関係の責任者及び担当者

環境管理責任者 事業企画部長 杉 清一  
事務局員 事業企画部グループ長 小山内 謙一  
連絡先 電話044-751-5331 FAX044-751-8909

### 4・事業内容

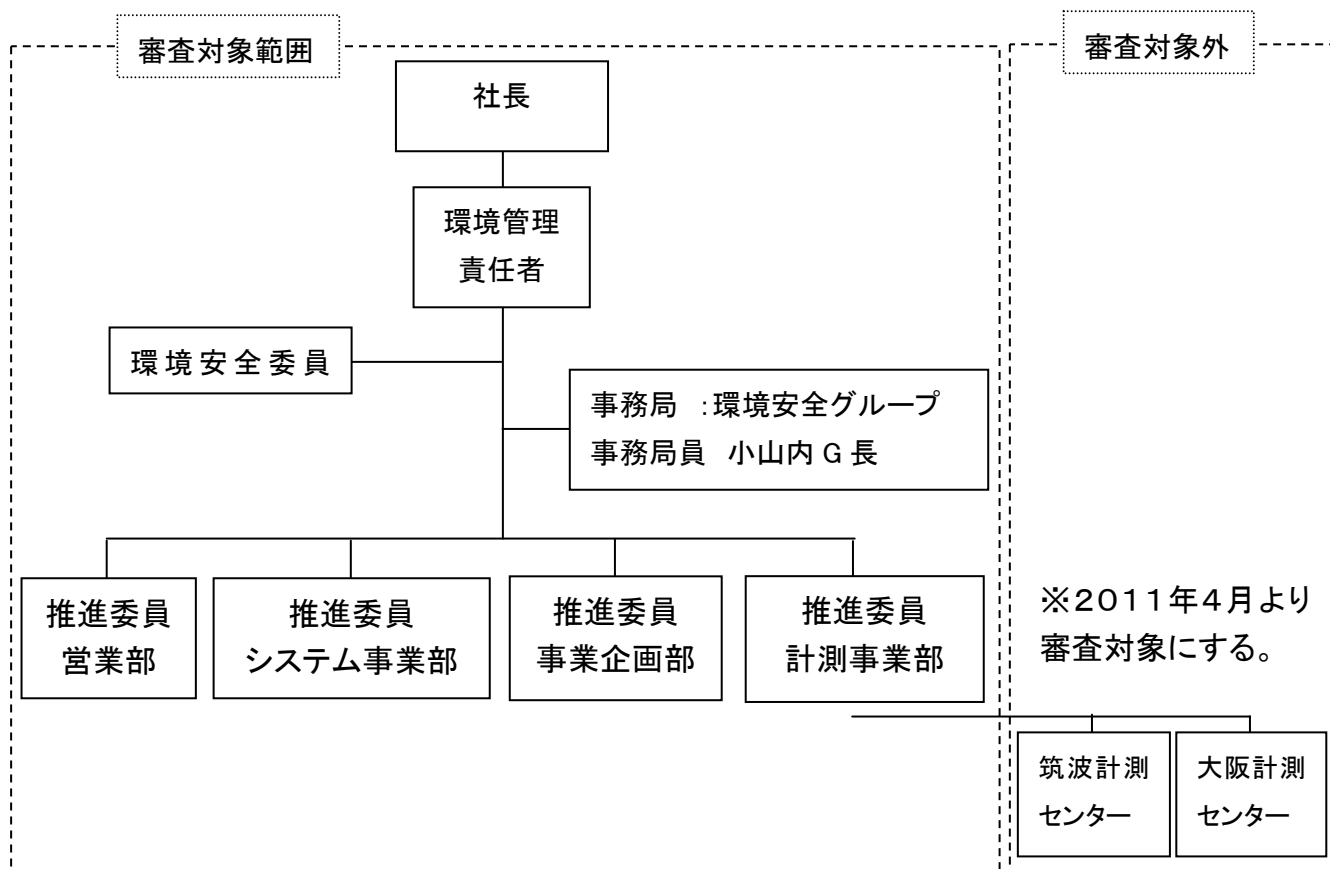
1983年11月 川崎市高津区野川3623番地に、(株)トーキンの出資により設立  
1997年11月現在の川崎市高津区子母口398番地に移転  
(02年に出資会社が統合によりNECトーキン(株)に変更)

- ①電磁波ノイズ及び耐妨害波並びに電子・電気機器製品等の安全の測定及び測定器等の校正に関する受託業務並びに技術アドバイス業務
- ②電波暗室、電磁気シールドルームなどの耐妨害波技術を応用した建築物の設計・施工と保全業務

### 5・事業規模( ' 09年度)

売上高 1, 579百万円  
従業員数 69名(対象44名) 10年3月31日現在  
事業所延べ面積 1918, 56平方メートル

## 環境管理実施体制と役割分担表



責任者・会議体	役割
社長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の制定</li> <li>・EA21の実行に必要な資源(人・物・金)を用意する</li> <li>・環境管理責任者を任命する</li> <li>・EA21の具体的な取り組みを評価し、見直し、必要な指示を行う</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムを構築し維持する</li> <li>・環境経営システムを構築、運用状況の確認を社長に報告する</li> <li>・環境活動レポートを取りまとめる</li> <li>・環境安全管理委員会を開催する</li> </ul>
環境安全委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として毎月1回開催し、環境管理活動の実施状況の確認と必要な措置を検討する</li> <li>・全体的な見直しの為に必要なデータを集計する</li> </ul>
各部の環境推進委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部門の環境教育を推進する</li> <li>・自部門の環境活動計画の具体的な取り組み内容を実践し、推進する</li> </ul>

## ■ 環境目標

当社の環境目標の設定に当たっては、環境への負荷の自己チェックシート及び環境への取組自己チェックシートの結果を踏まえ重点項目を決定した。

尚、当社における二酸化炭素の排出量(化石燃料・電気の使用量)、産業廃棄物の排出量、水道使用量の2010年度の実績は下記の通りです。

1・当社は以下の目標を掲げて環境活動を実施した。(2010年度実績から前年比較とし目標値を見直した)

No.	項目	目的	2010年度目標
1	電力	冷暖房電力の削減 一般電力の削減	2009年度実績に対し4%の削減
2	ガス	ガス使用量の削減	2009年度実績に対し1%の削減
3	ガソリン	エコドライブの徹底 エコカーの導入	2009年度実績に対し3%の向上
4	廃棄物	分別によるリサイクルの推進	2009年度実績に対し10%の削減
5	水道	水道使用量の削減	2009年度実績に対し1%の削減

## ■ 主要な環境活動計画の内容

### I 今年度以降の目標

No.	項目	目的	単位	09年度実績	10年度目標	11年度目標	12年度目標
1	二酸化炭素排出量の削減		Kg-CO <sub>2</sub>	167,675	139,259	136,862	133,587
		事務所電気使用量の削減	KWH	389,367	373,792	369,900	362,111
		事務所ガス使用量の削減	Kg	41.4	41.0	41.0	41.0
		自動車の燃費向上	Km/L	13.05	13.44	14.36	15.00
2	産業廃棄物	廃棄物処理量の削減	トン	1.17	1.05	0.99	0.94
3	水道(排水道)	事務所水道使用量の削減	トン	497	492	492	492

(注1)2009年度の購入電力の二酸化炭素排出係数は0.378(kg-CO<sub>2</sub>)を採用

(注2)2009年度以降の購入電力の二酸化炭素排出係数は0.324(kg-CO<sub>2</sub>)を採用

削減目標は2009年度を基に

- ①電気使用量は2010年度で4%削減し、3年間で6%削減を目標とする。
- ②ガス、水道使用量は2010年度1%削減し、以降現状維持を目標とする。
- ③ガソリンは2010年度で3%の燃費向上し、3年間で15%の向上を目標とする。
- ④産業廃棄物は分別の徹底を図り、2010年度で10%削減、3年間で17%削減を目標とする。

### II 今年度の活動内容

#### 1. 購入電力の削減

- 1)室内不在時・昼休み時の消灯の実施
- 2)冷暖房の温度設定 夏28℃ 冬20℃以下の室温を徹底(温度計設置済み)
- 3)冷暖房機のフィルターを定期的清掃する。
- 4)蛍光灯を40Wから36Wに順次切り替える。
- 5)パソコンの節電設定(待機時の節電設定)全数設定
- 6)電気ポット、プリンター等の夜間電源オフの実施・・・最終退出者確認
- 7)事務用機器購入時は節電タイプにする(エナジースター付き)
- 8)省エネタイプの空調機に更新する。
- 9)トイレの換気扇を更新する。

## 2. ガス使用量の削減

- 1) ガス給湯器使用期間の制限(4月～10月までの使用禁止を明示する)

## 3. 車両の燃料の削減(ガソリン)

- 1) エコカー(省エネ車)の活用・・・(プリウス)
- 2) エコドライブの実施(教育の継続)

### 【運転テクニック】

- ① アクセルペダルの踏み込みは控えめに行う
- ② 十分な車間距離をとり急減速や急加速をしない
- ③ 法定速度を遵守する
- ④ 時間にゆとりをもち、道路標識通りの速度以内で走る
- ⑤ 無駄なアイドリングは止める

## 4. 産業廃棄物の削減

- 1) 廃棄物を分別し、処理量を削減する

- ① 分別品目を明確にし、再資源化を推進する

- 2) 廃棄物を分別し、有価物となるように推進する

- ① ダンボール ② 飲料缶 ③ 金属くず

- 3) 保管基準を明確にする

保管場所は保管基準を遵守し常に整理・整頓・清掃に心掛ける

- ① 廃棄物は整理整頓し、隙間なく納める
- ② 長尺物は適当な寸法にカットする
- ③ コンテナは雨に濡れない様にシートで養生する
- ④ ダンボールは箱を壊し、平積みとする。油等の汚れのある物はいれない
- ⑤ 木くずの釘は抜くか折り曲げる

## 5. 水道使用量の削減

- 1) 蛇口の短時間開放

・節水の表示を各手洗い場・水道蛇口等に掲示し、無駄を防止する

## ■ 2010年度 環境活動計画に対する取組状況及び評価

### 1. 環境活動結果と達成状況

No.	項目	目的	単位	08年度実績	09年度実績	10年度目標	10年度実績	評価
1	二酸化炭素排出量の削減		Kg-CO <sub>2</sub>	169,793	167,675	139,259	176,286	×
		事務所電気使用量の削減	KWH	383,523	389,367	373,792	447,500	×
		事務所ガス使用量の削減	Kg	48.4	41.4	41.0	46.8	×
		自動車の燃費向上	Km/L	9.87	13.05	13.44	10.9	×
2	産業廃棄物	廃棄物処理量の削減	トン	5.040	1.170	1.050	23.372	×
3	水道(排水道)	事務所水道使用量の削減	トン	452	497	492	658	×

(注1) 2009年度の購入電力の二酸化炭素排出係数は0.378(kg-CO<sub>2</sub>)を採用

(注2) 2009年度以降の購入電力の二酸化炭素排出係数は0.324(kg-CO<sub>2</sub>)を採用

(注3) 前年同期比 比較

#### 1) 電気使用量の削減

- ・エアコンの使用目標を夏季28℃、冬季20℃以下に設定し運用、また照明や未使用機器の消電等の設定を図ったが、7～10月の長い猛暑の影響で冷房の稼働率UPに伴い電気使用量が増加した。3月に空調機の更新工事を実施したのでその効果に期待する。

#### 2) ガス使用量の削減

- ・2008年に調理用ガス台を全て(3台)撤去し、瞬間湯沸かし器は4～10月の期間は使用禁止にしたが、周知が不足していた為、再度周知徹底する。

#### 3) ガソリン使用量の削減

- ・エコドライブの指導が不足していた為、朝礼等で再度周知する。

#### 4) 産業廃棄物の削減

- ・08年5月以降の分別等は定着し効果として表れているが、川崎本社のレイアウト変更により、産廃排出量が増えた事と、2010年度実績から筑波計測センター及び大阪計測センターと工事現場の産廃を含めて集計した事で大幅に排出量が増える結果となった。

#### 5) 水道使用量の削減

- ・節水コマの取付、手洗い場の節水標示の効果もあり、社員に水資源の大切さは浸透してきたが、大阪計測センターの水道管破裂が原因で漏水が発生し、結果水道使用量のUPとなった。

### ■ 代表者による評価と見直し

2009年1月に認証・登録しましたエコアクション21ですが、環境負荷低減活動を通し、全社員の環境に対する意識向上が見られます、これは非常に大切な事だと思います、環境負荷低減活動は大切な事ですが、効果はそれだけでは無く、エネルギーを大切にするという意識向上に加えて、これが物を大切にすることに繋がり、人を大切にしたいという事に繋がるものだと思います。これからもエコアクション21の活動を推進していくとともに、活動を拡大し、当社製品にもエコ商品を展開していきます。

### ■ 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

当社に関わる環境関連法規等の遵守確認の結果、違反はありませんでした。

また、過去3年間にわたり関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。